

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	産業廃棄物を適正に処理することは勿論、産業廃棄物の低減化・リサイクル化のために分別を徹底しており、全社員が共通した認識を持つよう社内浸透を図っている。											○	○		○					
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	電力使用量、燃料使用量について把握管理し、更なる削減を推進している。							○							○					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	職場において、省資源化・省エネルギー化を意識し、古紙リサイクル率の向上及び電力等エネルギー消費量の節減等に努めている。							○						○	○					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	SDS安全データシート等を収集確認し、業務上使用する有害化学物質を特定するなど、健康上、環境上のリスクを把握し使用の削減に努めている。			○			○					○	○							
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	環境に配慮した工事資材の調達・使用に努めることで生態系への影響の低減化に貢献している。						○										○			
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	水資源の適切な利用に関心を持ち、企業活動に取り入れる様取り組んでいくよう努める。						○													
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	ISO14001を取得しており、環境マネジメントを意識した事業活動をおこなっている。			○			○	○						○	○	○	○			
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	自社HP上にて環境に対する取り組み、各種団体への積極的な活動への参加等、具体的な成果報告について開示している。													○						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	太陽光の利活用等、再生可能エネルギーの活用については今後の検討としている。							○							○					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	認証製品（森林、パーム油、ゴム、コーヒー等）ブランテーションにより生産される原材料、天然水産物および養殖水産物の利用、活用について今後の課題とする。													○	○	○	○			
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	資源の削減、再利用を推進するために、工所用、事務用排出物の分別を行うとともに、効率的なリユース・リサイクルに努めている。						○						○	○	○	○	○			
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	汚職・贈収賄等を禁止するなど社外との公正な取引の推進と、コンプライアンス規定の整備、社内浸透を図っている。																		○	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	不正競争等に関与しないなどコンプライアンス規定の整備、社内浸透を図っている。																			○
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	【予定】 ・特許、商標等知的財産権の取得・管理 ・製品開発における特許侵害調査等の検討									○	○									
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	個人情報の取り扱いについて、個人の権利・利益を保護することを目的とし個人情報保護規定を定め、個人情報を預かる際には利用目的、趣旨などの説明を行い適切な運用管理を行っている。																			○
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	自社事業についての紛争鉱物の取り扱いについては特段無し。																			○
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行っている。					○			○		○		○	○	○	○	○	○	○	○
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	サービス使用時に想定されるリスク等については官公庁などの発注先・企業様の指導・指示により、都度対策を講じている。			○										○						

